



子どもたちに安心・安全な学び舎を！

ネパール 学校建設募金



写真：(公社) シャンティ国際ボランティア会

2015年4月25日に発生した大地震は、ネパールの小中学校のうち47,700以上の教室に被害をもたらしました。現在、多くの学校では緊急期に提供された仮教室で授業を行っていますが、耐久性の低い仮設校舎はもう寿命を迎え、使用できなくなっています。復興事業は、2006年に終結した内戦のしこりがまだ癒えていないことからくる政治不安によって、十分に進んでいるとは言えません。海外からの支援も、約5,000棟という学校校舎のニーズを満たすことができていません。

また、今回初めて地震を経験した子どもたちの多くは、未だにその恐ろしい経験を鮮明に覚えており、学校に来ることを嫌がります。今にも壊れそうな校舎や、雨風を十分にしのげない仮設校舎では、安心して勉強をすることができません。子どもたちが勉強するのに必要な、安心安全な教室設備の不足は、退学や低い進学率といったネパールの教育の質の低さに影響を与えています。

そのため、シャンティ国際ボランティア会は、未だに震災から復興のできていないヌワコット郡の農村部にて小学校校舎建設を行います。安心・安全な学びの環境を子どもたちに提供するために、ご協力を宜しくお願い致します。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

電話 03 (5360) 1233

FAX 03 (5360) 1220

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

<http://www.sva.or.jp>

Email: info@sva.or.jp

ネパール 学校建設とは？



【事業概要】

震災の影響で被害を受け、まだ復興の目途が立っていない学校を対象に、校舎の建設を行います。建設は、復興庁と指導のもと、政府の耐震基準を満たした設計図を利用し、安心・安全な校舎を建設します。学校建設地の選定は、郡政府の教育局の情報をもとに、当会職員が候補地の村へ調査や確認のために何度も通います。また、村人自身が行政との連絡や建築の進み具合の確認、盛り土作業などに直接関わる「住民参加型」の学校建設を行っています。一緒に事業に参加してもらうことにより、建設完了後も住民が学校に愛着を持ち、維持管理してもらうことと、子どもたちの教育の大切さを再認識してもらうことを目指しています。



【お振込先】

5,000,000円(校舎1棟2教室、2017年2月現在)費用には、校舎の建設費ならびに一部学校備品、建設中および建設後のモニタリングなどの経費も含まれています。

※事業予算は、最終の見積書を提出する月のSVALレートを反映した額にて確定となります。

【お振込先】

1) 郵便振替 * 郵便振替手数料免除

郵便口座: 00150-9-61724

口座名: 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

* 郵便振替用紙の備考欄に「ネパール学校建設募金」とご記入ください。

2) 銀行口座からのお振込の場合にはご一報ください。

【村からの声】

スレシュ・ラマさん(33歳)

今回建設していただいた教室は、以前に比べて質が大変上がったと思います。その証拠に、子どもたちがとても快適に勉強しています。私の子どももこの学校に通っていますが、校舎が丈夫なため、親として学校に子どもを安心して送り届けることができます。私たちの学校は大きな地震の影響で被害を受けてまいりました。日本の皆さまには、このような支援をしていただき、大変感謝しています。



【事業実施の流れ】

建設地決定、事業計画書のご提案



覚書の取り交わし、支援金のご入金
プレート用ご芳名(ロゴ)確認



建設開始(工期10カ月)



建設終了、ご芳名プレート設置



「贈呈式」

(ご希望により、ご参加いただけます)



報告書(写真付き)のお届け

【所得税及び法人税の優遇措置について】

当会は特定公益増進法人です。募金には、所得税及び法人税上の優遇措置が適用されます。

※詳しくは、弊会東京事務所ネパール事業担当までご連絡ください。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

電話 03 (5360) 1233

FAX 03 (5360) 1220

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

<http://www.sva.or.jp>

Email: info@sva.or.jp